

# 財務基盤

ヒットの有無が収益に大きく影響を与える「ヒットビジネス」を展開するセガサミーグループにとって、財務安定性及び遊技機事業のキャッシュ創出力は、開発や新たなビジネス創出に向けた継続的な投資を可能にする強みです。

## 開発投資の継続性を支える財務基盤

エンタテインメント業界は、少子高齢化やモバイルデバイスの普及によって、業界内はもとより業際を越えて、ユーザーを奪い合う競争環境に発展しています。

遊技機市場では、遊技人口の減少を背景に、パチンコホールの需要は投資回収の確度が高い機械に集中する傾向が、一層強くなっています。年々、高付加価値化が進む機械を継続的に提供できる開発力と開発投資余力があるかどうか、メーカーの優勝劣敗を左右する市場環境に突入しています。

熾烈な競争が繰り返されているオンラインゲームコンテンツ市場では、幅広いジャンルのコンテンツを継続的かつスピーディーにリリースしていくためのIP、開発人材、そして資金力が勝敗を分けます。

当グループは、パチスロ遊技機事業で高い市場プレゼンスを有している一方で、パチンコ遊技機事業でも着実にブランド力の向上を実現しています。これら事業は、開発投資を行うためのキャッシュの源泉となります。また当社の自己資本比率は、安定的に60%前後で推移しており、一定の開発リスクを吸収することができます。このように、収益性が高い遊技機事業を事業ポートフォリオに有している当グループは、オンラインゲームコンテンツ領域で事業を展開するプレイヤーの中では、ユニークな企業集団です。

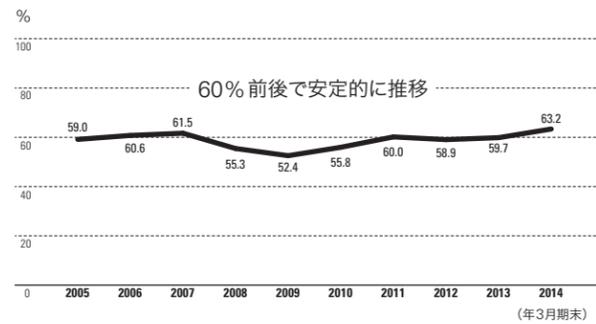
## IR事業への参入に向けた基盤

IR（統合型リゾート）事業を将来の新たな収益の柱と位置づけ、準備を進めています（P.49 特集「カジノとセガサミー Vol.2」をご参照ください）。ノウハウの蓄積に向けた先行投資に加え、同事業への参入の際には大規模な投資が必要になります。当グループの財務安定性は、将来を見据えた投資を実行していく上での基盤ともなります。

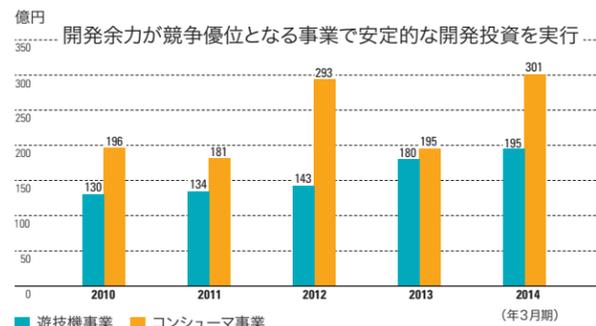
## ヒットビジネスにとっての持続性の基盤

### —財務安定性とキャッシュ創出力

#### 自己資本比率



#### 研究開発・コンテンツ制作費\*



\* 2014年3月期より集計方法を変更し、2013年3月期まで減価償却費に含まれていたデジタルタイトルの償却費用を研究開発費・コンテンツ制作費に含めています。

## 持続的な開発投資を支える財務基盤 2014年3月期末の自己資本比率

# 63.2%

## セグメント別資産配分

成長戦略に基づき、開発力の強化を目的とした開発会社の買収や成長性が高いデジタルゲーム分野における投資等により、コンシューマ事業の総資産が大きく拡大しています。また、市場の縮小が続くアミューズメント施設事業は、店舗数の大幅な減少により資産が減少しています。

